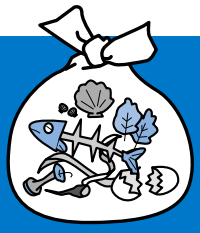
目指せ1人1日廃棄ごみ400g以下

みんなで実践！ お手軽 生ごみ減量術



市は、市民1人が1日に出すごみの量を400g以下と定め、減量に取り組んできました。昨年度は1人1日412gとなり、目標達成まであと一歩です。
この連載では、家庭から毎日のように出る「生ごみ」の効果的な減量法を紹介。簡単にできるので、早速今日から始めてみましょう！

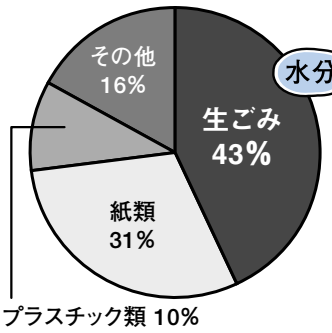
このページに関するお問い合わせは
ごみ減量推進課☎211-2928

第1回 「水切り」で生ごみを減らそう！

水分をいかに少なくするかが生ごみ減量のカギ！

生ごみの大部分は水分なので、生ごみ中の水分を減らす「水切り」は、減量にとても有効です。水切りをすると台所の嫌なにおいを減らせるほか、ごみ袋が小さくて済むため、節約になります。また、水切り後の生ごみは軽くなり、燃えやすくなるため、市が行うごみの運搬や焼却に掛かる経費の削減にもつながります。

■各家庭などから出る燃やせるごみの内訳



燃やせるごみのうち、約4割は生ごみ

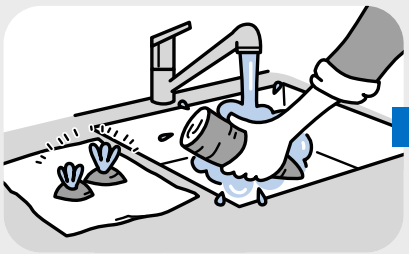
生ごみのうち、80%が水分！

生ごみの水分を減らすことが、ごみの減量には効果的！

やってみよう！ 生ごみの水切り

以下の手順で生ごみの量を10%程度減らすことができます。ぜひ試してみましょう。

手順1 食材は食べない部分を先に切ってから洗おう！最初からぬらさないことが水切りの基本です。

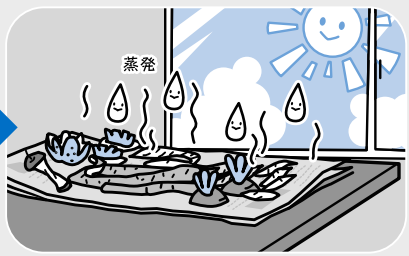


手順2 水気の多い生ごみは、ネットや穴の開いた袋などに入れて絞ろう！

手を汚すことなく水切りができるグッズもあります。ホームセンターなどで販売しています。

余裕があれば

手順3 ざるや新聞紙などに載せて、日の当たる所で乾燥させよう！



水切りを実践中の方に聞きました

水気を含んだ生ごみが出た時は、すぐに絞ることを心掛けています。時間がなくて天日干しは難しい、という方は、適度な大きさに切った新聞紙の上に生ごみを載せて包み込み、水分を吸い取るのも効果的。簡単にできますし、嫌なにおいが減るのでおすすめですよ。

リサイクルプラザ宮の沢で生ごみ減量の取り組みに携わる
高橋英子（たかはしえいこ）さん

こちらも注目！

電動生ごみ処理機の購入費用を助成します

室内で簡単に生ごみの減量や堆肥化ができる、電動処理機の購入費用を助成します。

助成額 本体価格の2分の1。上限2万円。
対象 21年度以降助成を受けておらず、助成決定後に市内の販売店で購入する方。1世帯1台で300台程度。
申込 7/17（火）から市コールセンター☎222-4894へ。先着。

出前講座を活用しよう！

市の職員が町内会の会合などに出向き、ごみ減量やリサイクルの取り組みなどを分かりやすく説明します。詳細はごみ減量推進課☎211-2928にお問い合わせを。